

震災避難行動マップ

この震災避難行動マップは、名古屋市が公表した「南海トラフ巨大地震の被害想定」をもとに、大規模地震が発生した場合を想定して、野立学区にお住いの皆さまが、お住いの地域の危険箇所や避難経路などについて確認し、作成したものです。
この震災避難行動マップをもとに「いざ」という時どんな行動をとればよいのか日ごろから考えておきましょう。

役に立つもの！

1. コンビニエンスストアなど

「災害時帰宅支援ステーション」として、公共交通機関が不通となった時、徒歩で帰宅しようとする人たちを支援する店舗もあります。トイレや避難スペースの提供など災害時可能な範囲で協力が得られます。

2. 地域防災協力事業所

災害時に地域に対して支援協力してくれる事業所です。

3. 公衆電話

NTTが設置する公衆電話は、災害時には優先的につながり、状況に応じて無料になります。

4. 災害救援自動販売機

対象となる自動販売機には、停電時でも飲料提供ができることが説明された看板がついています。

5. 下水道直結式仮設トイレ

マンホールに直結できる仮設トイレです。避難所のトイレ不足を補います。



左：マンホール
右：設置時の様子

6. 地下式給水栓

災害時に地域のみなさま自ら操作していただくことで、飲料水を確保するための設備です。



7. 津波避難ビル

大津波警報が発表されたとき、高台への避難が困難か、避難する時間がないときなどに一時的に避難する施設です。

凡 例

	指定避難所		一時避難場所
	指定緊急避難場所		公衆電話 (屋内終日使用不可)
	津波避難ビル		公衆電話 (屋外終日使用可)
	地域防災協力事業所		集合場所
	災害応急協力井戸		地下式給水栓設置場所
	仮設給水栓		下水道直結式仮設トイレ

指定避難所一覧

番号	名称
1	野立小学校
2	野立コミュニティセンター
3	中央卸売市場本場

津波避難ビル一覧

番号	名称
A	野立小学校 (北校舎棟)
B	野立小学校 (東校舎棟)
C	中央卸売市場本場中央管理棟南館
D	中央卸売市場本場鮮魚棟 (大衆魚棟・仲卸棟)
E	日比野団地2号棟
F	グリーンハイツ
G	清水ビル
H	メゾンT・S・N
I	ひびのファミリア

地域の避難先の表示

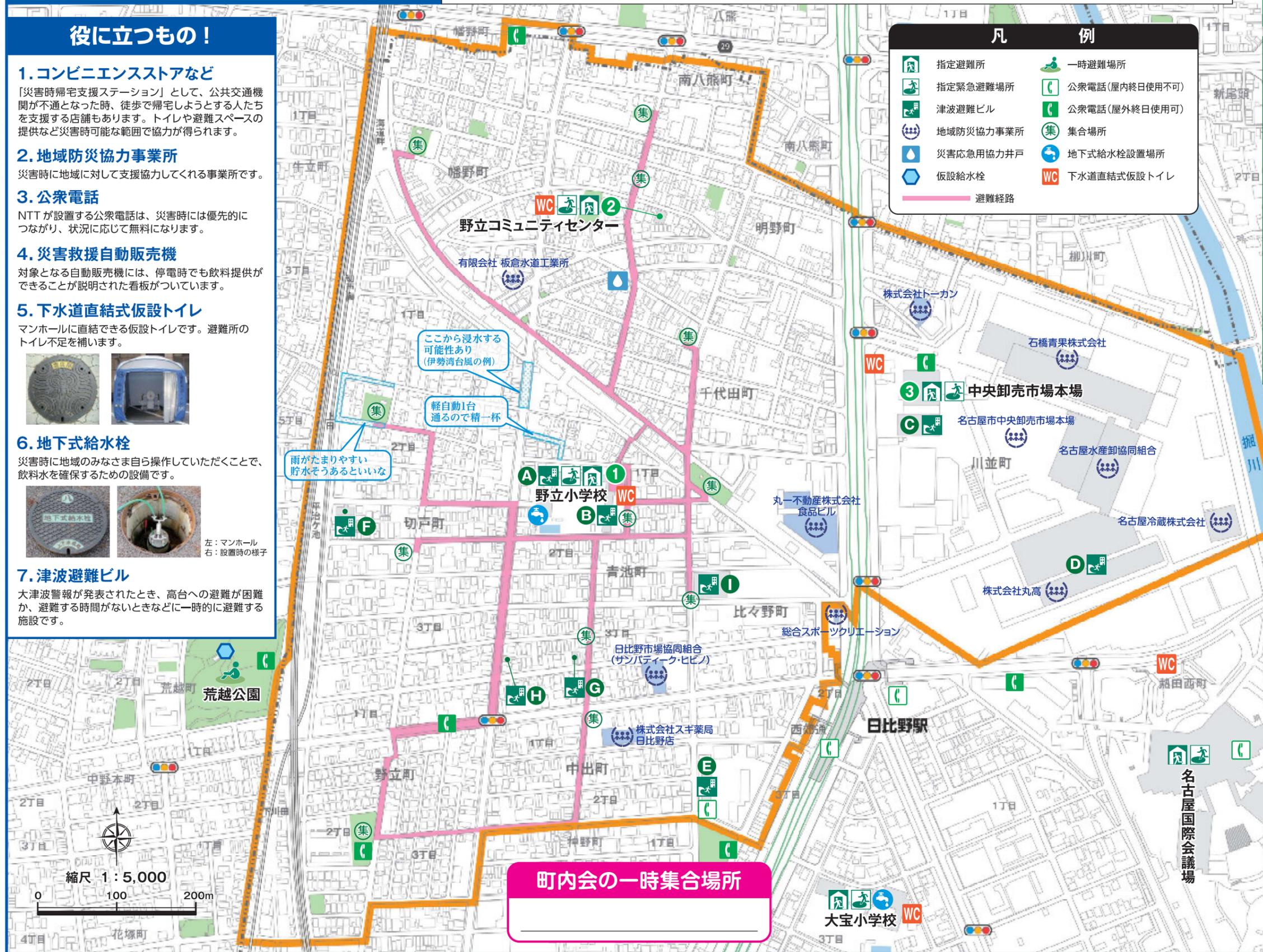
	指定緊急避難場所 Safety Evacuation Area 指定する目的は、災害の危険がもたらす被害を軽減するため、災害の発生が予想される地域に指定する。		津波 Tsunami		地震 Earthquake		大規模な火災 Large Fire Disaster
	指定避難所 Shelter 指定する目的は、災害発生時に、一時避難場所として利用する。		2		3		X

のたてしょうかつこう
野立小学校
Nodate Elementary School
名古屋市防災危機管理課

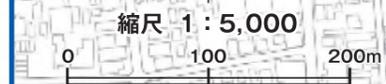
指定緊急避難所…命を守るため、災害の危険からまずは逃げるための場所 (災害の種類ごとに異なる。)
指定避難所…自宅が被災して帰宅できない場合、一定期間、避難生活を送るためのところ

気をつけて！

- 災害時に避難する際には、狭い道路はふさがれ通れなくなったり、通行時に怪我をしたりする恐れがあります。避難時は周りの様子に気をつけよう！
- ① 耐久性のない古い (空) 家
 - ② 道路に面する高いブロック塀
 - ③ 建物からの飛散ガラスの落下
 - ④ 自動販売機の転倒やマンホールの隆起
 - ⑤ 切れて垂れ下がった電線



町内会の一時的集合場所

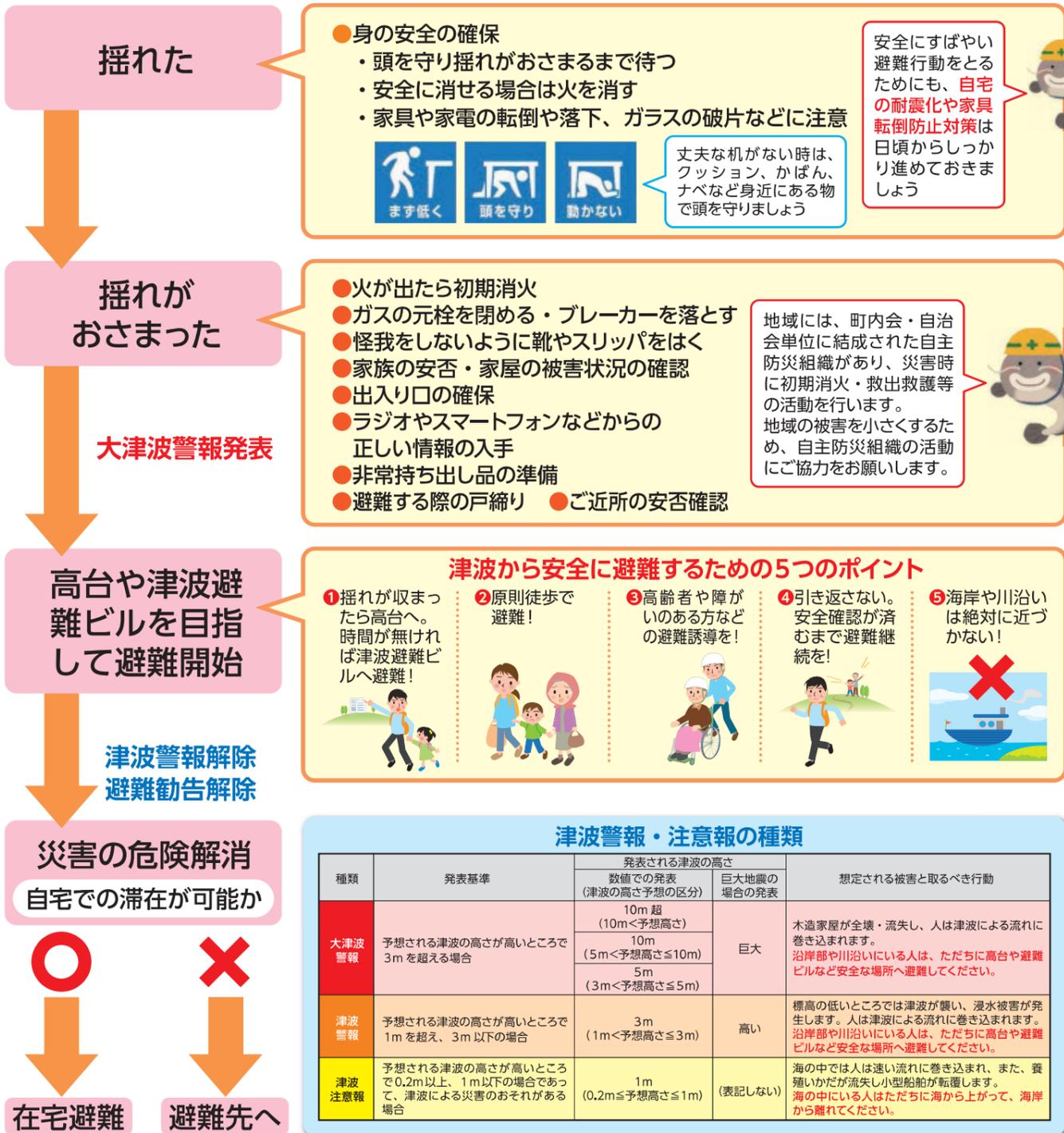


熱田区野立学区 災害時の特性と対策

南海トラフ巨大地震が発生した場合、名古屋市の中でも比較的強い**震度6強**の揺れが想定されます。まずは身を守りましょう。このときに怪我をしないよう、日頃から家具の転倒防止などの耐震対策に努めましょう。また、津波が他の地区よりも早く来ます。名古屋港への津波(30cm)の到達時間は96分と予測され、当地区では**2時間程度から浸水**が始まります。この時間を最大限に使い、川沿いから遠ざかるようにして高台か津波避難ビルへ避難しましょう。

また、**液状化現象**が起きる可能性が高い箇所がいくつかあります。建物が傾いたり、路上に泥水が溢れ出し、通ることができなくなります。これらを踏まえ、適切な避難先と、そこまで安全にたどり着くための経路をあらかじめ考えておきましょう。

地震発生！ 災害時の対応



在宅避難の目安

避難所では、不特定多数の方が避難生活を送るため、環境の変化とともに大きな負担がかかることが想定されます。火災や家屋倒壊などの危険がない場合は下記の点に留意して自宅で避難生活を続ける「在宅避難」を考えましょう。

- 家が倒壊した、または余震が来たら家が倒壊しそう
- 家中に物が散乱して動く危険
- 火事や津波の危険が迫っている
- 自分で身体を動かしたり、物事を判断することが難しい
高齢者や障がい者がいて、家族だけでは対応できない
- 自宅のライフラインが止まり日常生活が送れない
- 家にいると、とにかく不安で仕方がない



熊本地震の避難所の様子

一人で逃げるのが難しい方への対応

過去の災害では、周囲からの「声かけ」と「避難の手伝い」が、高齢者や障がいのある方などの避難行動を早めました。日頃から一人で逃げるのが難しい方を把握し、地域みんなで、いち早く避難行動が取れるよう協力しましょう。

情報の入手や判断が難しい方 (例えばこんな方)

目が見えない方、耳の聞こえない方、認知症の方、知的障がいのある方、日本語が苦手な外国人、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など

移動が難しい方 (例えばこんな方)

普段、杖・押し車・車椅子などを使っている人、寝たきりの人、けが人、病人、妊婦さんなど

避難の時の豆知識 非常持ち出し袋を準備しましょう!

避難する時に持っていくもの

防災用品 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> ヘルメット・防災ずきん <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> マスク	照明等 <input type="checkbox"/> 懐中電灯(電池含む) <input type="checkbox"/> マッチ・ライター	食器類 <input type="checkbox"/> はし・スプーン <input type="checkbox"/> 紙皿・紙コップ	衣料品 <input type="checkbox"/> 衣類(着替え) <input type="checkbox"/> タオル(大小2種類)
貴重品 <input type="checkbox"/> 現金(小銭も必要) <input type="checkbox"/> 預(貯)金通帳の写し <input type="checkbox"/> 健康保険証・免許証の写し <input type="checkbox"/> カード類 <input type="checkbox"/> 認印・印鑑など	医療用品 <input type="checkbox"/> 三角きん <input type="checkbox"/> 包帯・ガーゼ <input type="checkbox"/> ばんそうこう <input type="checkbox"/> 消毒薬 <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ(ティッシュ) <input type="checkbox"/> お薬手帳の写し	便利用品 <input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> 携帯用トイレ <input type="checkbox"/> ゴミ袋 <input type="checkbox"/> キッチン用ラップ <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> 手動携帯電話充電器	ゴミ袋をカッパに 新聞を体にまいて防寒 ラップをお皿にして節水

日頃から水や食料を準備しておきましょう。めがね・入れ歯・持病の薬も忘れずに!